

辻井タカ子後援会だより

2014年
11月

第217号



辻井タカ子議員の報告

収入減り物価・税金増える！

政府は来年10月に消費税を10%に上げるかどうかの最終判断をするため、有識者に意見を聞く「景気点検会合」を4日から始めました。安倍首相のブレーンらに聞くまでもなく、世論調査で、7割超の国民は消費税の再引き上げに反対です。

8%になったことで日本経済は、消費が冷え込み大変な危機に陥っています。働く人の実質賃金は、前年比で、14ヶ月連続でマイナスです。円安による物価上昇に加えて、消費税の大増税で給料の目減りが続いているのです。年金給付費は来年度までに2.5%削減されることとなります。一方、大企業の内部留保は285兆円にまで膨れ上がり、「アベノミクス」の恩恵は大企業だけです。

後援会員さんから、消費税10%への増税反対署名を多数いただいています。なんとしても中止させようではありませんか。

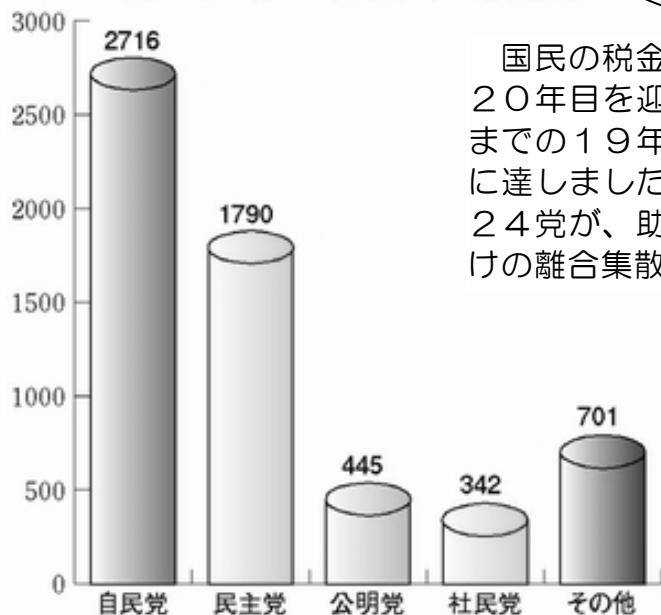
それにしても、小渕経済産業大臣が「観劇会」、松島法務大臣が「うちわ」問題でそろって辞職に追い込まれました。その後も閣僚の「政治とカネ」の疑惑がとめどもなく広がりつつあります。一連の疑惑の原資は、企業・団体献金と政党助成金です。とりわけ政党助成金は私たちの税金です。企業の言うことを聞いているだけで、毎年、何の苦勞もなしに国から巨額の助成金が転がり込み、何に使おうと自由。だから、カネに対する感覚をマヒさせるのです。この、政治を腐らせる元凶を禁止・撤廃させることが急務です。庶民の暮らしの苦勞をわかってもらおうとせず、国民の批判に耳を傾けない政治に未来はありません。

辻井タカ子のホームページ
アドレス <http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：辻井：604-7914
：堀本：604-5820

16日投票の沖縄知事選挙、“基地問題で保守と革新が敵であってはならない”と新基地建設断固反対を掲げるオナガ候補が連日頑張ってみえます。基地で長年苦しめられてきた沖縄、私たちも出来る限りの応援をしたいと思います。

19年間(1995~2013年)で
各党が受け取った政党助成金額(億円)



政党助成金って？

国民の税金を政党に支給する政党助成金制度が来年20年目を迎えます。1995年の制度実施から今年までの19年間の支給総額は5996億1360万円に達しました。その間受け取った政党は32党。うち24党が、助成金を手にとると政策や理念をそっこの離合集散を繰り返し、解散・消滅しました。

日本共産党は、国民の税金を各党が山分けする政党助成金は、憲法が保障する思想・信条の自由に違反する制度だとして一貫して受け取りを拒否し、その廃止を主張しています。

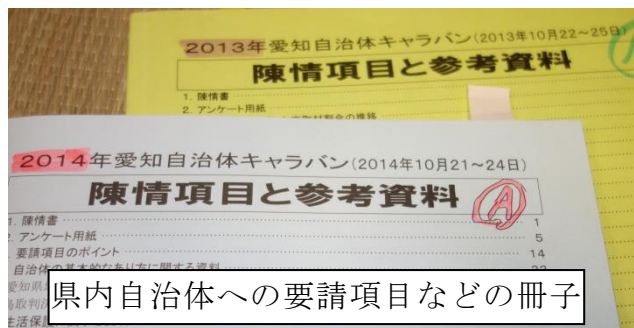
報告

自治体キャラバンい参加して

●高齢者へのらんらんバスを70歳以上は無料にしてほしい、バスも小型化にして台数を増やしてほしいなどと質問しましたが、交通防犯課の担当者は参加していないので答えられないとの返事。

●生活保護の基準が引き下げられる中、就学援助認定基準を、昨年の1.2から1.3に引き上げられると回答があり、ホッとしました。こういうところにお金を使ってほしい。

●まだまだ多くの底辺の声を拾って届けることが大事だと思いました。



県内自治体への要請項目などの冊子



富田公民館にて議会報告会

9月議会報告と共産党のつどい

報告

富田公民館にて11月1日、上記の会を16名の参加者で開きました。

辻井議員から東海市の財政状況、新日鉄住金(株)の黒煙問題、西知多総合病院と、それに関わる医療体制状況の報告があり、市民の暮らしを守れと奮闘する意気込みが伝わってきました。

参加者からは、「エレベーター付きの市営住宅にしてほしい!」と要望が出されました。来年から中の池に新しい病院が出来る話の中で「医療制度が大きく変わり、病気になるっても安心して病院に入院して居れないのか?」の声も

また、DVD(いまこそ日本共産党を強く大きく)視聴の中では、志位委員長が「あなたも共産党へ」という熱いメッセージが響きました。「共産党の事が理解できた」という感想も聞かれました。これが大切な集いを積み重ねていくことが大切だと思いました。

ご参加ありがとうございました。